

第1回 下小岩小学校・下小岩第二小学校 統合準備委員会 議事録（要旨）

【日 時】

令和3年11月22日（月） 18時30分～19時45分

【場 所】

下小岩小学校 多目的室

【主な内容】

(1) 校名案の選定、公表後の経過について

統合校の校名案は、「下小岩」が選定された。今後、条例改正について議会の議決を経て正式に決定する。

(2) 統合した学校の在り方、周年の考え方について

(3) 統合準備委員会の設置について

学校で決めることについては学校部会、PTAで決めることについてはPTA部会をそれぞれ設置して、諸課題について検討していただきたい。

(4) 今後の会議の進め方について

今後の合同会議は、統合準備委員会の進捗状況に応じて、決定事項、報告事項が出てきたタイミングで開催する。統合準備委員会に設置する学校部会、PTA部会には事務局が必要に応じてオブザーバーとして参加する。

(5) 改築・統合スケジュールについて

(6) 統合に係る諸課題について

(7) 校章の検討について

【意見交換内容】

- ・両校の校章を合体して2で割るようなデザインがあると良いと考えている。そうすると両校ともイメージが大きく変わることがなく、子どもたちも受け入れやすいのではないかと。
- ・校章のデザインは、両校の良い所を一緒にできると良いと思う。
- ・下小岩小と下小岩二小が一緒になって新しい校章になるので、その点を考慮して原案を作る。3つくらい作る予定でいるので、出来上がった後皆さんから意見をいただきたい。
- ・歌詞の中に両校をイメージしやすいものを入れたい。下小岩の地域性が伝わってくるよう

なものを入れ込んでいったら良いと思う。原案を作成し、最終的には専門家をお願いしたい。

校歌・校章は、それぞれの学校のイメージが湧く歌詞やデザインになるように、この会で協議する形で検討を進めたい。

- 仮に、現在の校章や校歌の一部を利用する場合、もし当時作った方が亡くなっていたとしても著作権は残っているため、注意をした方が良い。
- 校章は両校をイメージしやすいように、それぞれの趣を残したものでも良いと思うし、まったく新しいものでも良いと思う。校名の選定のときに最終案で残った「くすのき」や「辰巳」が、下小岩小、下小岩二小にとってのキーワードになると思う。今は月桂樹と桜だが、地域の傍にある辰巳新橋、新中川、くすのきがデザインに入ってくると良いと思う。また、校歌は制作を依頼する当てはあるのか。両校にゆかりのある方をお願いするとなると、教職員の方や地域の方になると思うが、予算が付くのであれば外部委託して、他のところに時間を割く方が良いのではないか。
- 両校で残したい言葉を託し、それをキーワードとして作詞、作曲していくのであればプロに依頼すべきだと思う。
- 清新ふたば小は学校名、校章、校歌が新しくなった。
実際の進め方は、校歌に入れたい単語やフレーズを公募し、それを作詞家に伝えて歌詞を作ってもらった。作曲家には、作詞の内容を伝えて作ってもらった。統合の時に歌えるように、前年度から練習したという話も聞いている。(事務局)
- ゆかりの人を探すかどうか、今回決めても良いのではないか。次回までにゆかりの人を探すことにするのか、公募にするのか、それとも誰かに一任して探してもらうのか。今回決定しなくても良いのか。
⇒決められた方が早く進む。今回はいろいろな案を出し合い、次回、事務局が資料にまとめて提示して決めるのはどうか。(事務局)
- 区在住の方限定で報酬を設定して募集し、両校の歴史を知ってもらった上で作詞をしてもらうのはどうか。
- 公募よりは、統合準備委員会のメンバーで、ゆかりの人を探す方が制作スケジュールの点でも無難ではないか。
- 合同会議には、地域の方が多数参加していたが、その方たちの中には音楽関係の方を知っている方もいた。その方たちをお願いするのも良いのではないか。見識ある方たちに仕上げてもらう方が良い。

- ・校歌はいつまでに決めなければならないという期限はあるのか。統合時に発表するためには、子どもたちにも事前に教える必要がある。区歌の4番が公募だったが、公募から歌が決まるまでどのくらいかかったのか。

⇒清新ふたば小の例で説明すると、学校名が決まったのが統合前年度の7月で、そこから約9か月で校章、校歌を検討した。校歌が決まったのは、統合する2か月前だった。練習は、統合前に各校で行い、4月の統合時に披露した。この事例を踏まえると1月～2月が期限になる。

校歌・校章は学校権限で決めていただくことになるので、区としても制約は設けていない。(事務局)

- ・スケジュールの中で公募が良いのか、推薦者を募って依頼するのは、皆で決めて良いと思う。来年の夏頃までに校歌の作詞・作曲のアウトラインを決めておかないといけないと思う。

- ・今回いろいろご意見を頂いた。いくつかスケジュール案ができると思うので、次回改めてご意見をいただく。(事務局)

- ・校章は来年の4月までに完成するスケジュールで進められるよう両学校の先生方に原案を作っていただき、次回の委員会で原案をお示しするという事で良いか。(事務局)

⇒良い。(全員)

- ・校歴の話は、どこで決めるのか。教育委員会で新しい学校の校歴を決めるのか。

⇒校歴については教育委員会で決める。

教育委員会の共通認識としては、各校で歴史を何十年も重ねていること、学校の変遷が地域の共通認識としてあることが重要だと考えている。実態としてどのように歴史を受け継いでいくのかも考慮して教育委員会で決めてお示ししたい。(事務局)

以上